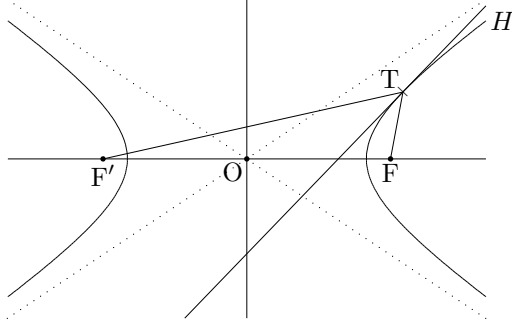


【14】双曲線  $H$  の焦点を  $F, F'$  とする。 $H$  の主軸と  $H$  の交点の内、 $F$  に近い方を  $A$ , 他方を  $A'$  とする。 $H$  の  $A$  における接線と  $H$  の漸近線の交点  $C, C'$  を、 $C, C', C'$  が反時計回りであるように決める。 $C, C'$  から  $H$  の副軸に下ろした垂線の足をそれぞれ  $B, B'$  とする。 $H$  の中心を  $O$  とする。 $OA = a, OB = b$  とする。次の (1) ~ (3) を証明せよ。

(1)  $H$  上に点  $T$  を取る。この時、 $H$  の  $T$  における接線は  $\angle FTF'$  を 2 等分する。[光線定理]

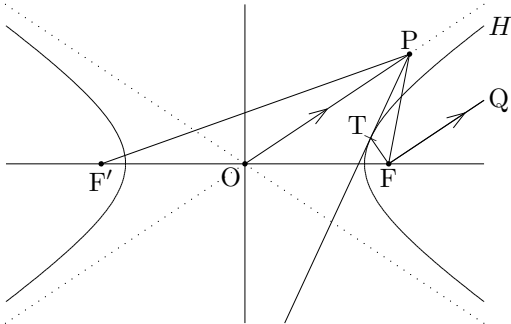


(2)  $H$  の漸近線上の点  $P$  を  $O$  と異なるように取る。 $P$  から  $H$  に引いた接線の接点を  $T$  とする。この時、次の (i), (ii) が成り立つ。[広義 2 接線系基本定理]

(i)  $\angle FPT = \angle F'PO$

(ii)  $H$  の主軸に関して  $P$  と同じ側の点  $Q$  を、 $FQ \parallel OP$  を満たすように取る。

この時  $\angle PFT = \angle PFQ$



(3)  $H$  上に点  $T$  を取る。 $H$  の  $T$  における接線と  $H$  の漸近線の交点を  $P, Q$  とする。この時、次の (i) ~ (v) が成り立つ。

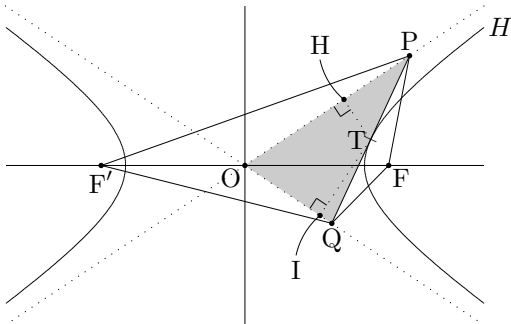
(i)  $\angle PFQ, \angle PF'Q$  は  $T$  の位置に依らない。 $\angle PFQ + \angle PF'Q = 180^\circ$

(ii)  $TP = TQ$

(iii)  $TF + TF' = OP + OQ$

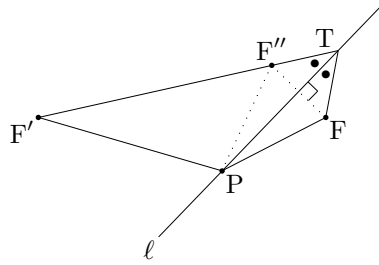
(iv)  $\triangle OPQ$  は  $T$  の位置に依らない。

(v)  $T$  から  $H$  の漸近線に下ろした垂線の足を  $H, I$  とする。この時  $TH \cdot TI$  は  $T$  の位置に依らない。



[解答]

(1)



$\angle F'TF$  の 2 等分線を  $l$  とする。

$F$  の  $l$  に関する対称点を  $F''$  とする。この時、 $l$  の定義より、 $F''$  は半直線  $TF'$  上に有る。…①

$l$  上の点で、 $T$  でない任意の点  $P$  を取る。

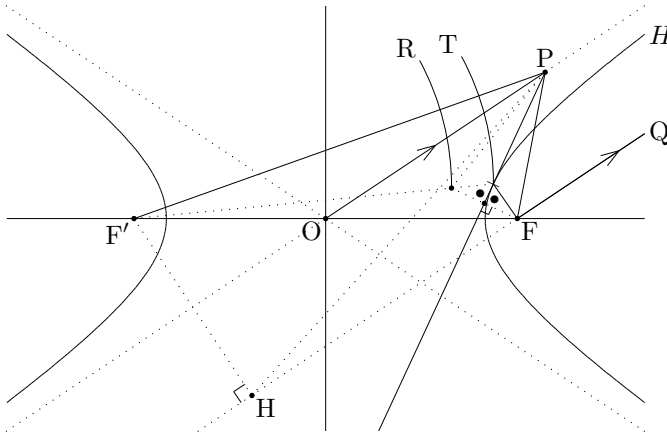
$$\begin{aligned} |PF - PF'| &= |PF'' - PF'| \\ &< F'T'' \quad (\because \triangle PF''F' \text{ に関する 3 角形不等式}) \\ &= |TF' - TF''| \quad (\because \text{①}) \\ &= |TF' - TF| \end{aligned}$$

故に、 $P$  は  $H$  の内側に有る。

故に、 $H$  と  $l$  は  $T$  のみで交わる。

故に、 $l$  は  $H$  の  $T$  における接線である。

(2)



$F$  の直線  $PT$  に関する対称点を  $R$  とする。

光線定理より、 $R$  は半直線  $TF'$  上に有る。…①

$F'$  から直線  $QF$  に下ろした垂線の足を  $H$  とする。

$$\text{①より、} F'R = |TF' - TR| = |TF' - TF| = 2a \dots \text{②}$$

$$\text{双曲線の焦点の性質より、} HF = 2a \dots \text{③}$$

$$\text{②, ③より、} F'R = HF \dots \text{④}$$

$$OF = OF' \text{より } PF' = PH \dots \text{⑤, } PR = PF \dots \text{⑥}$$

$$\text{④, ⑤, ⑥より } \triangle PF'R \equiv \triangle PHF \text{ (3 辺相等)} \dots \text{⑦}$$

$$\text{⑦より } \angle F'PR = \angle HPF$$

$$\therefore \angle F'PH = \angle RPF$$

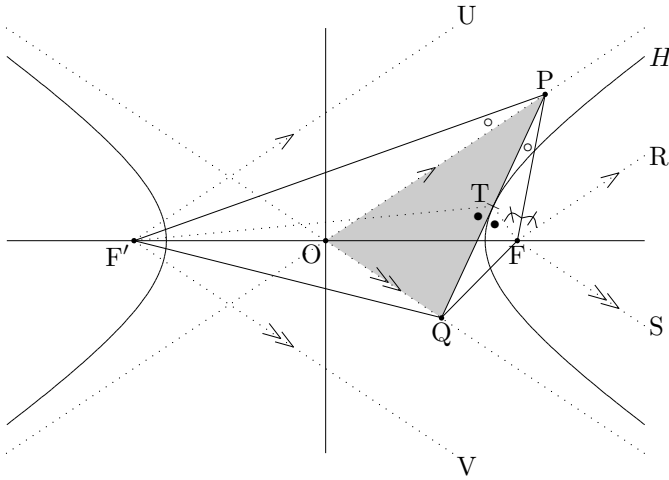
$$\therefore \angle F'PO = \angle FPT$$

$$\therefore \angle F'PO = \angle FPT \dots \text{(i)}$$

$$\angle PFT = \angle PRT$$

$$= \angle PFQ \quad (\because \text{① (R, F の外角)}) \dots \text{(ii)}$$

(3)



$H$  の主軸に関して  $P$  と同じ側の点  $R$  を、 $FR \parallel OP$  を満たすように取る。

$H$  の主軸に関して  $Q$  と同じ側の点  $S$  を、 $FS \parallel OQ$  を満たすように取る。

広義 2 接線系基本定理より  $\angle PFT = \frac{1}{2} \angle RFT \dots \textcircled{1}$ ,  $\angle TFQ = \frac{1}{2} \angle TFS \dots \textcircled{2}$

$\textcircled{1} + \textcircled{2}$  より  $\angle PFQ = \frac{1}{2} \angle RFS$  (優)  $= \angle OFR \dots \textcircled{3}$

故に  $\angle PFQ$  は  $T$  の位置に依らない。... (i)

$H$  の主軸に関して  $P$  と同じ側の点  $U$  を、 $F'U \parallel OP$  を満たすように取る。

$H$  の主軸に関して  $Q$  と同じ側の点  $V$  を、 $F'V \parallel OQ$  を満たすように取る。

同様にして、 $\angle PF'Q = \angle OF'U \dots \textcircled{4}$  は  $T$  の位置に依らない。... (i)

$\textcircled{3} + \textcircled{4}$  より  $\angle PFQ + \angle PF'Q = \angle OFR + \angle OF'U = 180^\circ$  (同側内角) ... (i)

広義 2 接線系基本定理より  $\angle PFT = \angle PFR \dots \textcircled{1}'$ ,  $\angle FPT = \angle F'PO$ ,  $\therefore \angle FPO = \angle F'PT \dots \textcircled{5}$

$\therefore \angle PFT = \angle PFR$  ( $\because \textcircled{1}'$ )

$= \angle FPO$  (錯角)

$= \angle F'PT$  ( $\because \textcircled{5}$ )

$\therefore \angle PFT = \angle F'PT \dots \textcircled{6}$

光線定理より  $\angle PTF' = \angle FTP \dots \textcircled{7}$

$\textcircled{6}, \textcircled{7}$  より  $\triangle PF'T \sim \triangle FPT$  (2 角相等) ...  $\textcircled{8}$

$\textcircled{8}$ , 双対相似定理より、 $TP = TQ \dots \textcircled{\text{ii}}$ ,  $TF + TF' = OP + OQ \dots \textcircled{\text{iii}}$ ,  $OF^2 = OP \cdot OQ \dots \textcircled{9}$

故に、 $\angle POF = \theta$  とすると、 $\textcircled{9}$  より  $\triangle OPQ = \frac{1}{2} OP \cdot OQ \sin 2\theta = \frac{1}{2} OF^2 \sin 2\theta$

故に  $\triangle OPQ$  は  $T$  の位置に依らない。... (iv)

$\triangle OPQ = S$  とする。

(ii) より、 $\triangle OPT$  について、 $\frac{1}{2_1} S = \frac{1}{2_1} OP \cdot TH$

$\therefore TH = \frac{S}{OP}$ , 同様にして  $TI = \frac{S}{OQ}$

$\therefore TH \cdot TI = \frac{S}{OP} \cdot \frac{S}{OQ} = \frac{S^2}{OP \cdot OQ} = \frac{S^2}{OF^2}$  ( $\because \textcircled{9}$ )

$\left( = \frac{1}{4} OF^2 \sin^2 2\theta = \frac{1}{2} S \sin 2\theta \right)$

故に、(iv) より  $TH \cdot TI$  は  $T$  の位置に依らない。... (v) ■

